

長岡工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	英語 (A)
科目基礎情報					
科目番号	0220	科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	物質工学科	対象学年	5		
開設期	通年	週時間数	2		
教科書/教材	理工系学生のための必修英単語3300, 成美堂, 2013. Mind Matters, 南雲堂, 2017				
担当教員	河田 重雄				
到達目標					
この科目は長岡高専の教育目標の(B)と主体的に関わる。この科目の到達目標と、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を、到達目標、評価の重み、学習・教育到達目標との関連の順で次に示す。①文法・語法に関する知識を確実に身に付ける。35%(b3)、②理工系の実用英語表現を身に付ける。35%(b3)、③専門的な内容に関する英語を正確に読み取れる。30%(b3)					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	文法・語法に関する知識を確実に身に付ける。	文法・語法に関する知識を概ね身に付ける。	左記に達していない。		
評価項目2	理工系の実用英語表現を身に付ける。	理工系の実用英語表現を概ね身に付ける。	左記に達していない。		
評価項目3	専門的な内容に関する英語を正確に読み取れる。	専門的な内容に関する英語を概ね正確に読み取れる。	左記に達していない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	理工系に必要な文法や単語の知識を習得することを目的とする。詳しくは以下の通りである。 1) 専門分野の文献を読み書きする上で必要な英文法・語法について学ぶ 2) 理工系の実用英語表現を学ぶ 3) 英語表現を含む文の読解活動を行う ○関連する科目: 英語演習 (全学年履修)				
授業の進め方・方法	適時、授業内容に沿った小テストを行う。また、授業内容にあったプリントを配布する。必要に応じてプロジェクターを利用した講義を行う。				
注意点	授業中に小テストを行うため、自学自習が必要。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	Introduction		
		2週	英語表現に関するプリント	理系英語に必要な表現を理解する	
		3週	英語表現に関するプリント	理系英語に必要な表現を理解する	
		4週	英語表現に関するプリント	理系英語に必要な表現を理解する	
		5週	英語表現に関するプリント	理系英語に必要な表現を理解する	
		6週	英語表現に関するプリント	理系英語に必要な表現を理解する	
		7週	英語表現に関するプリント	理系英語に必要な表現を理解する	
		8週	英語表現に関するプリント	理系英語に必要な表現を理解する	
	2ndQ	9週	英語表現に関するプリント	理系英語に必要な表現を理解する	
		10週	英語表現に関するプリント	理系英語に必要な表現を理解する	
		11週	英語表現に関するプリント	理系英語に必要な表現を理解する	
		12週	英語表現に関するプリント	理系英語に必要な表現を理解する	
		13週	英語表現に関するプリント	理系英語に必要な表現を理解する	
		14週	英語表現に関するプリント	理系英語に必要な表現を理解する	
		15週	期末試験		
		16週	試験解説と発展授業	試験範囲の内容を理解する	
後期	3rdQ	1週	Mind Matters	英文を正確に理解する	
		2週	Mind Matters	英文を正確に理解する	
		3週	Mind Matters	英文を正確に理解する	
		4週	Mind Matters	英文を正確に理解する	
		5週	Mind Matters	英文を正確に理解する	
		6週	Mind Matters	英文を正確に理解する	
		7週	Mind Matters	英文を正確に理解する	
		8週	Mind Matters	英文を正確に理解する	
	4thQ	9週	Mind Matters	英文を正確に理解する	
		10週	Mind Matters	英文を正確に理解する	
		11週	Mind Matters	英文を正確に理解する	
		12週	Mind Matters	英文を正確に理解する	
		13週	Mind Matters	英文を正確に理解する	
		14週	Mind Matters	英文を正確に理解する	
		15週	期末試験		
		16週	試験解説と発展授業	試験範囲の内容を理解する	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	4	前1,前7,前13,後3,後9,後15
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	4	前2,前8,前14,後4,後10,後16
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	4	前3,前9,前15,後5,後11
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	4	前4,前10,前16,後6,後12
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	4	前5,前11,後1,後7,後13
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	4	前6,前12,後2,後8,後14

評価割合

	前期末	期末	その他の試験	出席点と態度	合計
総合評価割合	25	35	20	20	100
基礎的能力	25	35	20	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0